



行所
社
平市田中一
編輯印
日刊 但月曜
定價一ヶ月十五円

現業者が圧倒的優勢

魚登録小賣店舗

既報、登録實施をまことに市内の魚屋さん

のお客様たつ戻は二十

六日をもつて幕を閉ぢ

たが、二十八日正午現

在における百世帯以上

獲得の店舗は左の如く

三十九店のうち二十九

店で新業者は現業者

に半強制的に票數をか

きあつめられた爲めに

登録證審査會は二十九

正反対は一反歩乃至三

四七四遠藤德右衛門

(柳町)三六〇鈴木庫

五安達サダ(舊城

跡)三六川上朝次

太(鶴屋町)三五九

郎(胡澤澤)三〇八

大(立町)三

され事になつた、平

須賀義栄(中平塙)

市の場合三十九店のう

野吉彌農地、員を客

三七黒澤定三郎(大

の業者の話合による譲

南町)二四八篠塚平(いなかつた業者もあり

古鍛治町)二二新

決定する。

妻(大工町)二〇

四箱崎勇貴(新川町)

二〇三鈴木泰久(正

月町)一九八政井正

二(田町)二八一高野

六鉢木幸平(南町)同

日本間に開催、委員や

通りスポーツ連盟後援

は第一、第二、第三の

役所と各町内との連絡

しまつたが、傳染病の

全郡野澤町新町大山館

の足で全町中ノ作局か

ら五干圓を引出さんと

して沼田局長代理に見

破られて逃げ出し、そ

れに七日以内で延長

することができる

して十四日以内、た

だし四學年以上はさ

れることにこのほど石

日から實施する事になつた、今回増發は途中で打切つて

いた長距離列車を本來通り區間延長を行つたもの平野關係

は次の通りで市郡民にとつては便利なうれしい復活である

された。

▲中學校併設校を

から感謝状を贈られた

る十日夜磐崎村湯屋谷

小學校から贈り物

十八枚を又同夜本町

石塚利雄(三)佐藤信良

(成年者)の七人組ば去

るため馬籠薯供出につ

つてみどめる

だけは認可申請によ

る。富澤傳助五段も臨

席、指導に當ることに

買収計劃中の措置に付

の強力化を望んでいる

まで賞を出すが、會費

は三十圓で米一合持參

のことある、なお當

會は三十日開き第一期

は苦しくなるばかりだ

と各労組では物價引下

校ともも休業はし

なつてゐる

協議をする

麻雀

一万

萬

平一丁目聚樂館裏

準備の会を開いた結果

副い員長に借地借家人

國盟が結成されること

になり去る二十四日

開催することに決定し

果来月六日結成大會を

平將棋大會並に地方事務所に一任

午前八時から市内五丁

目的の會所で六月例會を

開くA、B級とも四等

の内部に入つては、こ現狀では燒石に水

と一億五千萬圓が

さつと流れ込み經營難のヤマに物價はどうし

と是逆に労務者連はボ

クーと傳えられるがもいわゆる雑品類にと

れば表面的にどまり、食糧品類が逆

に尻上りを示している

されるとともに、勞務者連はボクーとどろか、い

夫百八圓、まだ凡ゆる犠牲を忍び

坑外夫六十つたけの生活をつ

五圓が解決づけて来ていただけに

夫百六十つたけの生活をつ

五

